



明日をひらく
行動力

3期目に
挑戦

日本共産党府会議員

ばばこうへい

profile: 1981年生まれ、37歳。パイオベンチャーでの技術者、労働組合での書記を経て、日本共産党に勤務。京都府議2期、府議会農商工労働常任委員。家族:妻、娘3人。

活動地域
南浜、向島全域、桃山全域、醍醐全域
<http://baba-kohei.jp/>

伏見民報 2018年11月 発行:日本共産党伏見地区委員会 〒612-8081京都市伏見区新町10丁目381番地 日本共産党伏見地区委員会は次の見解を發表しました。

オール与党の悪政と対決 伏見のいのち・暮らしを守る 日本共産党

府会2名 市会3名

日本共産党は一貫して「国民の苦難の軽減、国民の利益を守る」立場です。みなさんといっしょに、要求の実現のために、とことんがんばることが出来る政党です。議会でも知事や市長、理事者に繰り返し迫り、他党の追随を許さない働きをしています

地域、現場に密着。現場で調査し、問題解決のために積極提案

災害に強いまちづくりに全力

日本共産党の各議員が地震、大雨災害、台風の際いち早く現地に行き、被害状況を調査。また「青空相談会」も開催し、住民のみなさんの切実な声を聞きました。今京都府・市議会で「被災者の生活再建を第一に」と様々な要望を出しています。伏見の住民から「共産党がいちばん親身に話を聞いてくれた」の声も出されています。



地震被害の大きかった淀で相談会



住民といっしょに粘り強く運動をすすめ、解決のために全力

敬老乗車証制度の改悪を許さない



京都市に申し入れ

敬老乗車証を「乗るたびに運賃を払う制度」に改悪する動きに反対し、伏見で敬老乗車証を守る署名運動がすすめられました。市内各地で12次にわたる署名約3万7千筆を提出。今年も敬

老乗車証制度の改悪をストップさせました。また、コミュニティバスの運行など、伏見のみなさんの足を守る取り組みに全力をあげます。

税金のムダをただし、住民に役立つ仕事に転換

国保料の引き下げ。安心して医療が受けられるように

伏見では「高すぎる国民健康保険料の引き下げ」の運動を各選挙のたびにすすめてきました。今、自公政権の下で、公的医療費の押さえ込み、市が実施してきた国保料の住民負担を軽減する財政措置をやめさせる動きがあります。「高すぎる

京都市の国民健康保険料は1万円の引き下げを」…日本共産党は引き続き、子どもからお年寄りまで、安心して医療が受けられるよう、市の膨れ上がる大型事業の見直しをすすめ、医療費の拡充にむけた運動をすすめます。



いのちの署名の宣伝行動

2019年 安倍自公政治に終止符を!

憲法9条守れ、原発ゼロ、消費税増税ストップ

4月統一地方選、7月の参議院選挙で、日本共産党の躍進、市民と野党の共闘で、国民生活と日本の民主主義を守りましょう。



比例代表 井上さとし 参院議員



京都選挙区 倉林明子 参院議員



西野 さち子

profile: 市会議員5期、醍醐9条の会世話人。市会厚生委員会委員長、人権擁護委員、都市計画審議委員など歴任。春日野在住。

活動地域
桃山南、醍醐全域

mail: shikai@nishino-sathiko.jp
<http://nishino-sathiko.jp/>

伏見民報 2018年11月 発行:日本共産党伏見地区委員会 〒612-8081京都市伏見区新町10丁目381番地 日本共産党伏見地区委員会は次の見解を發表しました。

市会 桃山南・醍醐地域のみなさんと共にあゆんで

5期20年



日本共産党市会議員
西野さち子

「この子よりも1日だけでいいから長生きしたい」

障害のあるわが子を隣にしてお母さんが言われた言葉。親にこんな思いをさせる政治の貧しさ。怒りがこみあげて涙が止まりませんでした。西野さち子の政治家としての原点がここにあります。

西野さち子のお約束

- 平和憲法を守りくらしに活かします。
- 敬老乗車証制度を今のままで守ります。
- 子どもの医療費を中学校卒業まで無料にします。
- 全員制の温かい中学校給食の実現をします。
- 桃山南地域に公共交通を走らせ暮らしの足を守ります。
- 高すぎる健康保険料の引き下げをします。
- 有料指定ゴミ袋の値下げをします。
- 議員報酬3割カットします。

電車で中学校に通う子どもの交通費補助を!!

無償であるべき義務教育で通学定期代が月4800円の保護者負担となっています。運動の結果二人目からは全額補助となりましたが、引き続き議会で追及していきます。

毎年20億円ものむだ遣い、焼却灰溶融炉の中止を!!
西野市議は初当選からこの問題を議会で追及しつづけ、2013年ついにストップ。



市営団地の浴槽の取り換えを市の責任で!

2013年、風呂釜は市の負担で取り換えることになったものの、浴槽は個人負担のまま高齢者には高くてもたぎにくいです。安全で住みやすい団地を目指します。

豪雨災害の時も即行動!

2014年、2018年の災害時に土砂災害の危険地域をすぐに見回り、土砂の撤去を議会でまっ先に追求。今後も住民の安全を守るためにがんばります。



西野さんに相談してよかった!!
団地で一人暮らしの母が今年の春に亡くなりました。孤独死でした。西野さんに連絡すると、すぐに飛んで来て、葬儀のことや何から何まで親身になって教えてくださいました。その後も自分の生活や仕事のこと等、今でも相談に乗ってもらっています。自分も人の役に立つ人間になりたいと思っています。来年の選挙には手伝いに行きたいです。(40代Mさん)

ババッと行動 走る、ついでに

まいにち全力 毎日進化

府会議員 ばばこうへい
府政を動かして2期8年



市内すべての大学前でブラックバイト・奨学金の実態調査



大阪北部地震で青空相談会



西日本豪雨でのKTR宮舞線の被害実態を現地調査



大手筋商店街で地震の影響、商売の現状などを聞き取り調査



平和を願い、夏の風物詩「伏見万灯流し」で献灯



南浜地域でのアルゼンチンアリ防除のとりくみに参加

“このままじゃダメだ”

この想いを胸に、額に汗して働く人たち、懸命に子育てする人たちの現実と向き合い、「まいにち全力、毎日進化」をモットーに走り続けてきました。

憲法をないがしろにし、国民に痛みをしいる政治がまかり通っています。いまこそ、一人ひとりの人間を尊ぶ政治、憲法がくらしの隅々にまで生きる政治へと大転換させましょう。いっそうのご支援をよろしくお願いします。



3つの約束

- ① 災害に強い町づくり
河川の改修予算の大幅増、住宅耐震化への補助拡充
- ② 子育て支援の府政に
中学卒業まで医療費の無料化、中学校での全員給食の実現
- ③ 若者支援の府政に
ブラック企業・ブラックバイトの根絶、給付制奨学金制度の拡充

何よりも地域の声を大切に

「立地条件のためエレベーター設置は無理と言われ、困っている」。こんな悲痛な声にこたえて、エレベーターの未設置住宅解消のため住民と話し合い、議会で追及。厚い壁を動かしつつあります。

すべての公営住宅にエレベーターの設置を

「病気の夫は家から出られない」。馬場さんに相談して署名を集め、府庁に向いて、議会で取り上げてもらった結果、府の姿勢が前向きに変わってきました。
小栗栖西団地在住 阿曾 ス工子さん(写真左)

災害に強い町づくり、地域応援の経済政策へ

災害のたびに現場で被災者の声を聞きとり、府に緊急支援策を要請。今後の災害に備え、河川改修予算の大幅増額、担当職員の増員が必要です。商店や住宅の「リフォーム助成制度」、「公契約条例」の制定など、地域応援の経済政策にもがんばります。

住民にも、職人にも役立つ公契約条例を

防災や町づくりの現場を支えるのが私たち職人です。公契約条例をつくって、地域の仕事を地元業者が適正な賃金で担えるよう、馬場くんがんばって。
小栗栖在住ブロック工 向井 頼澄さん

子育て支援、住民福祉を最優先に

みずからも3人の娘を共働きで育てる議員として、「子ども医療費の中学校卒業まで無料化」を求める府民運動に全力。府も19年度から拡充へ。国保料の引き下げ、府独自の「老人医療助成制度」の拡充も最優先の課題です。

ブラックバイト・奨学金問題で一步前進

「バイトのシフトが変えられず、試験にも出られない」。若者にとりくんだアンケートと1.5万筆の署名をもって京都府に迫り、府・市・国による「ブラックバイト対策協議会」の設置、府独自の「奨学金返済支援制度」の創設などを実現。

心強いパートナー

高すぎる学費、重い奨学金返済、ブラックバイトにこれ以上我慢できないと、LDA-KYOYOを立ち上げました。この運動が共感を呼び、制度改善へ一歩前進。心強いパートナーとして、支え続けてくれたのが馬場こうへいさんです。
LDA-KYOYO 辺谷本 圭祐さん

そしてこれからも あなたの声 が私のエネルギーです